

便利なゴミ箱の製作

電子情報科

市野 佑人 玉城 瑞花 新保 涼介 坂田 瑞來
島田 桂志 吉田 幸太郎 矢川 銀士朗

きっかけ

様々なものが便利になってきている昨今
の流れの中で、ゴミ箱はあまり進歩が
見られないと感じた。

目的

ゴミ箱を進歩させて、便利な機能を搭載した、みんなが捨てたくなるようなゴミ箱を
製作する。

作業内容

制御班、工作班の2班に分かれて作業を行った。

制御班…Arduinoを用いて、自走機能、
自動開閉機構などのプログラムを作成した。

工作班…モータやゴミ箱を取り付ける土
台、タイヤなどの取り付けを施工した。

結果

動作をさせることができた。音を検知すると
直進し、人やものを検知すると停止する。
フタの下部にセンサを設置してあり、手を
かざすとフタが自動で開き、15秒後に自動
で閉じるようになっている。

考察

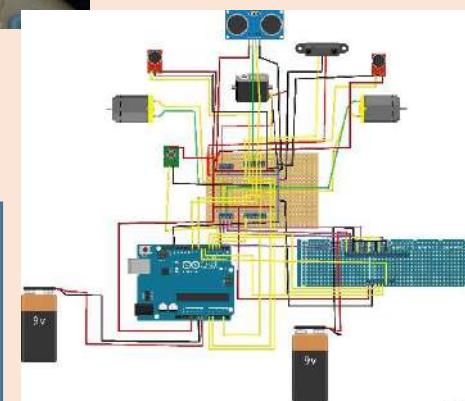
制御班…音センサの感度が悪いため、遠くからの呼びかけに
反応しづらい。音センサを買い直したい
工作班…ふたなど見栄えをよくしたい。配線を隠したかったが、
時間が足りなかつた。



外側



内側



配線図